

Scouting Ibaraki

2013 vol.37

ボーイスカウト茨城 広報大使

渡辺裕之さんの「ボーイスカウト茨城広報大使」
委嘱式が平成25年6月30日に行われました。



参加者との記念写真

日本ボーイスカウト茨城県連盟 <http://www.scout-ib.net>



ボーイスカウト
茨城広報大使の
渡辺 裕之です。
楽しいスカウト活動を
一緒にやりましょう



6月30日(日曜日)、県立青少年会館で、水戸市出身の俳優、渡辺裕之氏(いばらき大使)の「ボーイスカウト茨城広報大使」の委嘱式が行われました。

渡辺氏は、小学校2年生から地元の水戸第2団に入られ、その縁で今回の委嘱となりました。

この日は県内からボースカウト関係者約100名が出席しました。渡辺氏からは、「ボーイスカウトが人生の原点です。社会奉仕を念頭において生活しており、毎朝のごみ拾いを欠かさず実践している

のも、ボーイスカウト時代に行った観梅時期の偕楽園のごみ拾いの延長線上にあります。自分の俳優としてのキャラクターもボーイスカウトで培ったものです」と話されました。また、車にはロープや毛布などを常備しており、高速道路での人命救助に貢献されたエピソードも披露されました。渡辺氏におかれましては、広報大使の活動を通して、本県の青少年健全育成に寄与されますことをご期待します。(文章は茨城県教育委員会のホームページより一部流用)

渡辺 裕之さん プロフィール

- ・水戸市に生まれ育ち、少年時代は水戸第2団のスカウトでした。
- ・スカウトとして培った「そなえ」を今も実践していて、車にはロープや毛布などを常備しているそうです。
- ・有名なのは、2007年1月11日の夕方、東名高速道路で人命救助を行ったことです。道路の金属製ジョイントに乗り上げた軽ワゴン車が横転。帰宅途中だった渡辺さんが目撃して車を止め、自分の携帯電話ですぐに110番通報をして、男性を事故車から救出。自分の車の中にあった毛布を掛け、救急車とパトカーの到着後、警察官に状況説明をしたのです。
- ・最近作は『桜田門内の変！？』の監督・主演。『HAPPY！メディアな人々』に主演。
- ・根っからのアウトドア好きですが、ドラムを演奏しバンド活動を精力的に行ってます。
- ・車がお好きで、ハーレーダビッドソンの勇姿をブログにも掲載しています。

茨城県連盟年次総会開催 平成25年5月19日

關 正夫 茨城県連盟長挨拶



日本ボーイスカウト茨城県連盟の年次総会が、5月19日に茨城県立青少年会館で各団の代表者、県連役員が出席して行われた。

総会に先立ち多数のボーイスカウト振興国會議員、県議会議員および友好団体の代表者等が臨席されるなか、茨城県連盟表彰式が行われ、ボーイスカウト活動に尽力された方々に感謝章4名、感謝状3名、日々の善行賞1名、県連有功章8名が受章された。

年次総会は議長に鈴木昭二氏（笠間2団）、副議長に竹内由比子氏（水戸4団）が選出されて、議事が進行された。

事業報告については、山田隆士理事長より、県連盟60周年記念事業の一環として開催された第18回茨城県キャンポリーと記念誌の発刊等について報告があり、続いて関係委員会委員長から1年間の活動報告があり承認された。なお、収支決算等については、池田正財政委員長から説明があり承認された。

また、本年度から組織を総務委員会、指導者養成委員会、プログラム委員会、信仰奨励専門委員会、「大和の森」高萩スカウトフィールド特別委員会とすることに決定し、これを受けて各委員会がそれぞれの計画を説明し承認された。また予算案についても慎重審議のうえ承認された。

平成25年度事業計画 スローガン

「スカウト運動の理解と啓発に努めると共に、スカウト活動を拡大・充実しよう」

重点目標

- ・標準団(隊)を目指してスカウトの確保と活動の充実を図る。
- ・世界で活躍できる人材の育成を目指す。
(第16回日本ジャンボリーおよび第23回世界スカウトジャンボリーで活躍できるスカウトを育成し派遣する)
- ・「日々の善行」運動を県民運動に発展させる。

特記事項として

※日本連盟野営場「大和の森」高萩スカウトフィールドの整備・活用に積極的に協力する。

基本方針として

- 楽しい、役に立つ野外活動の提供。
- 市民としての誇りと責任を果たす奉仕活動の実践。
- 世界的・国際的な仲間との連携による国際理解・交流活動の展開。

ボーイスカウト振興茨城議員連盟総会

平成25年度ボーイスカウト振興議員連盟総会が平成25年6月5日に茨城県議会大会議室に於いて行われた。来賓として県連盟の名誉連盟長である橋本昌知事及び小野寺俊教育長の臨席のもとに、県連盟からは、佐野英樹副連盟長、維持財団から立原久理事長ほか3名、県連役員からは山田理事長ほか10名、第2地区から指導者10名が陪席した。

総会は、桜井富夫会長が議長となって、全5号の議案がすべて原案どおり可決された。議員連盟からはボーイスカウト茨城県連盟とボーイスカウト茨城県連盟維持財団にそれぞれ助成金が贈呈された。スカウトの活動等に有意義に活用させていただくことで感謝申し上げたい。

また、最後に山田隆士理事長よりボーイスカウト茨城県連盟の取り組みについて報告がなされた。

なお、同日発表された平成25年度ボーイスカウト振興議員連盟役員および会員の皆様は次の通りです。

会長	桜井 富夫	(石岡市)	海野 透	(ひたちなか市)	高崎 進	(水戸市)
副会長	長谷川修平	(日立市)	石川 多聞	(水戸市)	田村けい子	(つくば市)
	井手 義弘	(日立市)	葉梨 衛	(稲敷郡北部)	戸井田和之	(石岡市)
	小川 一成	(守谷市)	西條 昌良	(神栖市)	西野 一	(常陸太田市)
監事	飯塚 秋男	(下妻市)	田山 東湖	(東茨城郡南部)	村上 典男	(笠間市)
	伊沢 勝徳	(土浦市)	磯崎久喜雄	(ひたちなか市)	神達 岳志	(常総市)
幹事長	白田 信夫	(桜川市)	細谷 典幸	(稲敷市)	志賀 秀之	(北茨城市)
幹事長代理	山岡 恒夫	(牛久市)	藤島 正孝	(潮来市)	石塚仁太郎	(坂東市)
○局長	小田木真代	(高萩市)	菊池 敏行	(日立市)	先崎 光	(那珂市)
幹事	石田 進	(神栖市)	森田 悅男	(古河市)	島田 幸三	(小美玉市)
	館 静馬	(水戸市)	川津 隆	(水戸市)	宮崎 勇	(筑西市)
	萩原 勇	(龍ヶ崎市)	常井 洋治	(笠間市)	鈴木 定幸	(常陸大宮市)
	加藤 明良	(水戸市)	飯岡 英之	(つくば市)	鈴木 将	(つくば市)
	下路健次郎	(那珂郡)	錦織 孝一	(鹿嶋市)	齋藤 英彰	(日立市)
	星田 弘司	(つくば市)	福地源一郎	(日立市)	設楽詠美子	(筑西市)
			荻津 和良	(東茨城郡南部)	八島 功男	(土浦市)
			鈴木 亮寛	(つくばみらい市)	川口 政弥	(取手市)
			石井 邦一	(常陸太田市)	細谷 典男	(取手市)
			佐藤 光雄	(水戸市)	大谷 明	(ひたちなか市)
			青山 大人	(土浦市)	外塚 潔	(かすみがうら市)



財団法人ボーイスカウト 茨城県連盟維持財団から ～近況報告～

このたび茨城県公益認定等審議会において「認可の基準に適合するものと認める」との答申がありました。平成26年4月1日から「一般財団法人ボーイスカウト茨城県連盟維持財団」と名称が変わります。

8月末現在、91名の維持会員の皆様および15の法人維持会員の皆様より、維持会費をご納入いただきました。また、ボーイスカウト振興茨城議員連盟様より助成金をいただきました。ありがとうございます。

皆様からのご厚志は、茨城県連盟の活動援助資金として役立させていただいております。今後とも、変わらぬご支援をお願いいたします。

「元気いばらきっ子育成事業」奉仕活動

県南生涯学習センター主催の防災保護活動「元気いばらきっ子育成事業」が2013年7月13日9時から、つくば市豊里ゆかりの森で小学生30名(保護者同伴にて60名)の参加者に対して戸館善敬氏を中心に第4・第5地区の指導者が支援活動を行った。

参加者を10名程のグループ6個を作り「ゲーム、ロープワーク、火起こし、ポリ袋を使っての炊飯と実食、クラフト」と多彩なプログラムをとおして、災害時の対応策について指導した。

- 開催場所 平成25年7月13日(土)
9:30~13:00
- 場所 つくば市豊里ゆかりの森
つくば市遠東676
- 参加者 小学生30名
(保護者同伴にて60名)
- 奉仕者 戸館 善敬 高須 泰治
秋葉 光次 岡 龍司
増田 義光



第7回高鈴げんき隊体験村 第1地区

日立市の高鈴げんき隊も今年で7回目を迎えました。8月17日から20日までの3泊4日の日程にて例年通り日立市もとやま自然の村キャンプ場に於いて実施しました。(今回の参加者は抽選にて選ばれた29名)

この事業の趣旨は、茨城県連盟のスローガンである“広めよう!スカウティングの楽しさをみんなに!”を実践するために、日立市教育委員会と日立市青少年育成推進会議の後援で、ボーイスカウト日立地区協議会及びガールスカウト日立クラブの共催により開かれた事業の位置づけとして展開している事業です。

高鈴げんき隊体験村は、日立市内の小学生(4年～6年)を対象に参加者が自然体験を通して、生きる力・思いやりの心・成し遂げた喜びを体験し、こころ豊かな人間に育ってくれる事を目的としています。



～友情・調和・絆～

第3地区

第3地区スカウト祭を、平成25年3月10日(日)に、桜川市の上野沼ふれあいの里キャンプ場で行ないました。テーマ『～友情・調和・絆～』で、約250人が集いました。

午前中、カブ・ビーバースカウトは、ワイドゲーム(環境調査)、沼探検(沼周辺でのゲーム)及び組対抗ゲームを、ボーイスカウトは、防水マッチ・簡易ろ過機の試験及び班対抗の野外料理コンテストを、ベンチャースカウトは、モンキーブリッジ製作を行ないました。

午後は、ボーイスカウトの各班が展開するゲーム及びモンキーブリッジにカブ・ビーバースカウトが挑戦するプログラムを予定していましたが、天候が悪化してきたので、中止せざるを得ませんでした。

なお、カブ・ビーバースカウトの昼食は、指導者・保護者の炊き出しプログラムで作った炊き込みご飯と豚汁をおいしく食べました。



ビーバー合同集会

第2地区

第2地区では4月14日(日)に水戸市の七つ洞公園(映画テルマエロマエのロケ地)に集合して、ビーバー合同集会「ビーバーかいぞくおう」を実施しました。

全部で40人近いスカウトたちが、海賊になりきって、的当てや歌、工作などのミッションにチャレンジできました。



ベアキャンプと

ビーバー大集会実施

第4地区

5月19日あかげらの森において、第9回ベアキャンプを行いました。地区内のくまスカウト、デンコーチ、指導者で60名以上が参加。

セレモニーの後、上進集会として野営工作を実施。班ごとに竹とコンパネでテーブル作成が課題です。デンコーチの助けを借り、みんなで協力して作成したテーブルで昼食を食べ、午後は座標で示されたポイントを回るハイキングを実施。地区合同集会でスカウト同士の交流も深まり、有意義な楽しい集会となりました。

6月にはつくば中央公園でビーバーラリー大集会(集まれビーバー)を開催しました。ビーバースカウトが一堂に集まって、ゲームなどを通して交流を深めました。お天気にも恵まれ、元気なビーバースカウトたちの歓声が公園に響きわたりました。

これからも合同集会を開催し親睦と交流を深めていきたいと思います。



沢登り体験

水戸6団

今年の夏は群馬県谷川岳の麓で沢登りをしてきました。天然ウォータースライダーは最高！草鞋は自作です！

